

令和6年度 研究概要

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>理科研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>子どもが主体的に問題解決・探究する学びを目指して 一単元の学びに動機付ける導入の工夫一</p>
<p>育成を目指す 資質・能力</p>	<p>科学的に問題解決・探究する力</p>
<p>研究内容</p>	<p>理科研究会議では、これまで、学習指導要領の改訂に伴う課題について研究をしてきた。平成29年度理科研究会議では、「主体的で深い学びにつなげる導入の工夫」を主題に研究をした。その結果、子どもが不思議さを感じたり、生活経験や既習を基に考えたりしやすい導入の工夫が、子ども自身が解決したいと思える学習問題の設定につながる一助となることがわかった。</p> <p>一方で、導入によっては、一点の学習問題の設定や一時的な学習意欲の高まりに留まり、単元を通して子どもが主体的に問題解決・探究をしていくことには課題が見られる。</p> <p>本研究会議では、子どもが単元を通して主体的に問題解決・探究するためには、事象との出会いによる一時的な学習意欲を高めるだけではなく、単元の学びに動機付ける導入の工夫をすることが必要であると考え、研究主題を「子どもが主体的に問題解決・探究する学びを目指して一単元の学びに動機付ける導入の工夫一」と設定した。</p> <p>研究に当たっては、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）や、令和5年度から始まった川崎市学習状況調査の分析結果等を踏まえながら、単元の見直しにつながる導入の工夫、対話や協働的な学びを通じた主体的な問題解決・探究につながる導入の工夫を視点に、子どもが自然の事物・現象から問題を見だし、対話や協働的な学びを通して主体的な問題解決・探究につながる導入の工夫を考え、検証していくことを内容に研究する。</p>